



西中だより

教育目標

豊かな人間性を培う
創造 自律 敬愛 健康

令和7年6月30日発行
第3号

「子どもの成長を促すために」

余市町立西中学校長 豊田 一正

6月25, 26日、後志中体連大会が各会場で開催されました。(野球は6月22日から) 西中からはバスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球大会に出場しました。今年はバドミントン大会の当番校だったため、残念ながら応援には行けませんでした。顧問からは「頑張っていましたよ」などの報告があり、賞状も持ってきてくれました。バドミントン大会でも、暑い中、気合いの入ったプレーや一生懸命に応援する姿が見られ、胸がジーンとしました。選手の皆さん、特に三年生はよく頑張りました。部活動では技術だけではなく、諦めない気持ちや粘り強さ、思いやり、感謝など多くのことを学ぶことができたと思います。また、「続けてきた」ことに価値があるので自信にしてほしいと思います。保護者の皆さんはお子さんの送迎やお弁当づくりなどお疲れ様でした。ありがとうございました。6月28日にはバスケットボールと野球、29日には柔道の大会があります。全道大会出場を目指し、頑張ってください。(この巻頭言は27日に書いているので・・・)

目標に向けて頑張ってきた中体連大会も終わり、1学期のまとめとなる7月に入ります。生徒の皆さんには次なる目標は「学習」にしてほしいと思います。7月3日には定期テストもあります。大切なテストですので、自分のために粘り強く取り組むことを期待しています。また、今年は、テスト前の三日間「放課後学習会」を行いますので、疑問な点は積極的に質問するなど多くの人に活用してほしいと思います。



さて、西中では今年度、目指す生徒の姿として「目標を持って取り組む生徒」「自分の考えを表現できる生徒」「自他の良さを認め合う生徒」「粘り強く取り組む生徒」を目指して日々の指導にあたっています。また、授業や学級活動、行事、部活動など学校生活の中で「やればできる」「やってみよう」「やってよかった」などの経験を通して生徒に自信を持たせることが重要だと考えています。ご家庭におかれましてもこのことをご理解いただき、お子さんの考えや様子を見取ったり、認めたり、時には励ましたりしていただきたいと思います。

終わりになりますが、7月は体育大会、PTA サポーター事業、参観日・懇談会があります。今年度より1学期終業式に配付していた通知表の所見がなくなったことでもありますので、多くの方にご来校いただき、生徒や学校の様子を見たり感じたり、先生方と顔を見てお話をしていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

北海道みんなの日（道みんなの日）

7月17日は、「北海道みんなの日」（愛称「道みんなの日」）です。北海道の価値と魅力を再発見し、北海道を誇りに思う心を育み、より豊かな北海道を築き上げることを期する日です。

この日は、北海道の名付け親とされる松浦武四郎が、明治2年(1869年)政府に対して「北加伊道(ホッカイドウ)」という名を提案した日です。武四郎は、探検家で6度に渡り蝦夷地(北海道の旧称)の探査を行い、アイヌの人々とも交流を深めました。そして、蝦夷地に詳しい第一人者として役人に任命され、蝦夷地に代わる新しい名前を考えることになりました。

武四郎はアイヌの長老から、この国に生まれた人を「カイ」と呼ぶことを聞いており、「北にあるアイヌの人たちが暮らす大地」という思いを込めて「北加伊道」という名前を考えました。最終的には「加伊(カイ)」が「海」に変わり、今の「北海道」になりました。

この日を機に、私たちの住む北海道の良い所を思い返してみたり、友だちや家族の話題にしてはどうでしょう。

